

Lab News

テーマ B型肝炎の検査方法と検査結果の解釈について (号外)

HBV 感染における抗原・抗体出現時期の推移を図 1 に示します。B型肝炎ウイルス (HBV) 感染の診断は、院内検査による陽性又は陰性の検査結果のみではなく HBc 抗体測定や HBV-DNA 定量測定等、他の検査結果及び臨床経過を考慮して総合的に判断することが重要です。

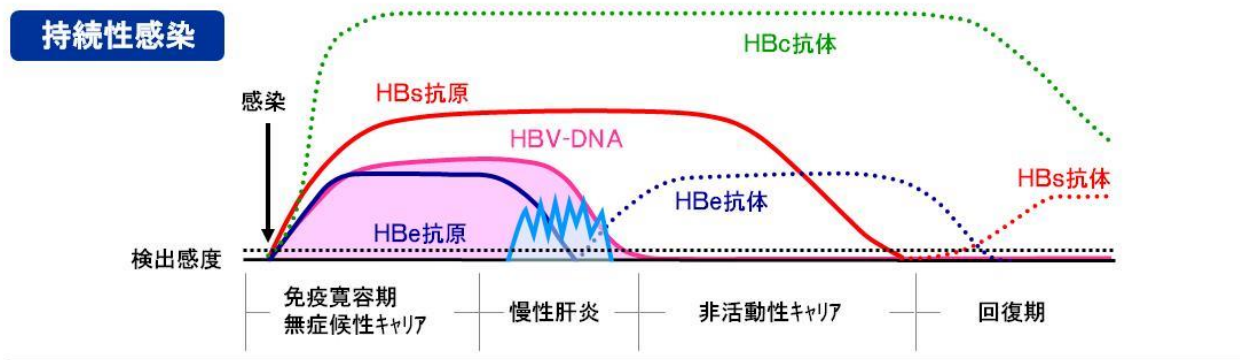


図 1. HBVキャリアにおける抗原・抗体出現時期の推移

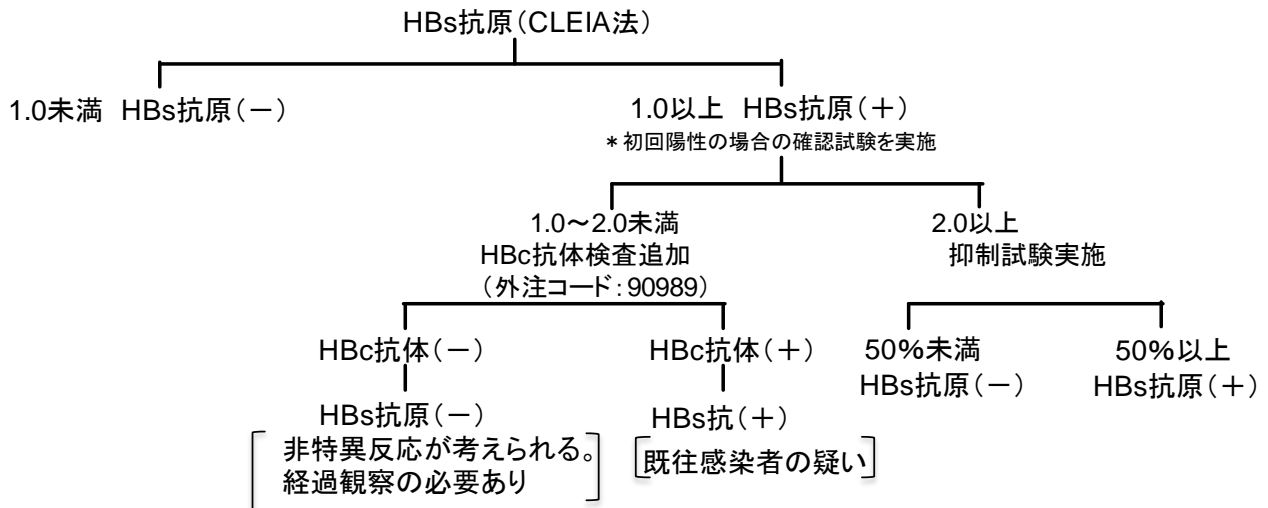


図 2. 当院におけるHBs抗原検査結果の解釈とその運用

【まとめ】

1. HB s 抗原 1.0~2.0 未満の場合は偽陽性等を考慮し、HBc 抗体の検査追加をお願いします。
2. HB s 抗原陽性の場合、非特異反応も考えられる為、他の検査や臨床症状を考慮して総合的に判断して下さい。

【参考】

化学療法による B 型肝炎活性化対策の診断：院報 No59「B型肝炎再活性化対策マニュアル」